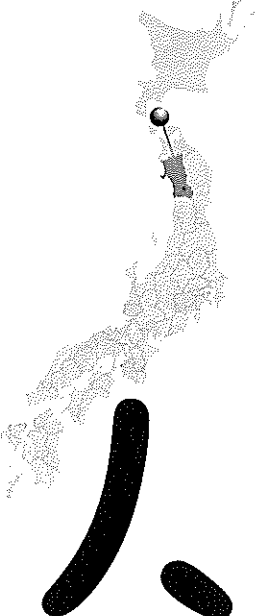


旅

Tabi Jin



● 須崎裕さん

秋田県
トラベルデザイン株式会社代表取締役社長

インタビュー／崎谷未央

2016年2月、日本版DMO候補法人の登録がスタートしました。社団法人や財団法人の登録が多い中、稀少な株式会社の登録として注目されているのが、「トラベルデザイン株式会社」(以下トラベルデザイン)です。拠点とする秋田県羽後町をはじめ、県内で外国人観光客を対象にしたインバウンド観光商材を企画・開発し、秋田版地方観光ウェブプラットフォーム「Concierge Akita」にて情報発信しているトラベルデザイン。代表取締役社長の須崎裕さんに、外国人を地方に呼び込もうとする思いや外国人向け商品開発の秘訣などについてうかがいました。



ピーズを使った大曲花火づくり体験ツアー

「地方と外国人を結びつける」 発想はいつ生まれましたか？

東京の高級ホテルに勤めていたころ、スタジオジブリの映画が外国でも流行していたので、外国のお客さまから「ジブリ映画に出てくるような場所に行きたい」という要望が多くありました。そこで、私は以前勤めていた長野県蓼科グランドホテル周辺の情報を教えたのですが、後で先輩に叱られました。理由は、①地方までのアクセスが複雑で目的地へたどり着けるか分からないこと、②地方では外国人の受け入れ体制ができていないことです。言われてみればそのとおりです。しかし、ニーズがあるのも確か。そして、私は地方ホテルの惨状も知っていました。オフシーズンになるとお客さまが来ず、新しいマーケットを求めている——「外国人」と「地方」を結び付けたい——そう考えるようになりました。

トラベルデザインを 起業するきっかけは？

東京のホテルを退社し、秋田県にある「国際教養大学」に社会人入学しました。授業は英語で、1000人以下の学生のうち200人以上が外国人という環境です。入学してすぐ「Happy People E AKITA」というサークルを作り、GWに観光バスを借り切ってキャンパスツアーを組みました。その後も外国人200人をマーケットにいろいろな旅行を企画。そこで人気だったのが「体験型」です。みそ蔵でみそを造ったり、盆踊りを習いに行ったり。サークル活動は地域の人にとっても喜ばれ、「地域活性化」の意味も分かってきました。「地域に外国人を呼ぶ仕事がいい」——それは既存の会社ではできないことが分かり、2014年4月、起業しました。

*「Concierge, Akita」 <https://www.con-akita.com/>

外国人をひきつける ツアーの秘訣は？

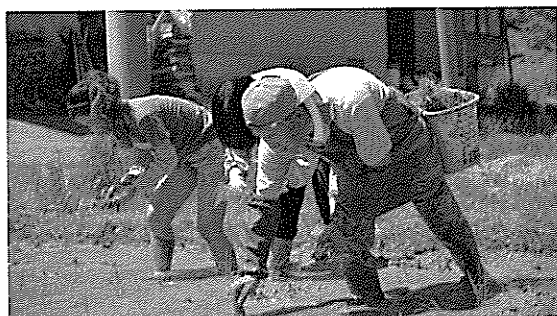
羽後町田代でのそば打ち体験ツアーを企画したとき、外国人のために農家のおかみさんがおにぎりを結んでいました。そうしたら、留学生たちが「私もやりたい!」と言い始めました。みんな「おにぎり」を食べたことあるんです。ただ、実際に作る場所を見ることがなかったのです。おかみさんが握る手の形を見て「なぜ、おにぎり作が三角形なのか分かった!」と大喜び。さらに作り始めるとお米が熱い上に水加減が分からずなかなか上手に握れない。苦戦しながらおにぎりを作り、ツアーは盛り上がりました。外国人向けツアーでは、まったく知らないことは避け、身近なものから入って体験していくうちに地域や文化が分かるようにしていくのが秘訣です。



おにぎりづくり

日本版DMOとしての役割とは？

私たちが秋田県羽後町を拠点としたのは、地域の皆さんが新しいものを受け入れてくださったこと、また海外進出経験が少なく、ゼロからスタートできると感じたことからです。日本版DMOは多様な関係者と連携し、観光による地方創生をはかる「かじ取り役」だと考えています。日本版DMOを機能させるためには、動きやすさ^①が大切です。今までは受け入れ側だった^②地域ですが、今後はマーケットに沿って「作る」「売る」「受け入れる」という観光産業のすべてのステップに関わる必要があります。そのためには連携や行動力は必須。地域が主体性を持つていくために、私たちが「日本版DMO」としてどんな活用していただきたいです。



羽後町の農家で田植え体験

旅行業を実施していないのは なぜですか？

既存の旅行会社とは切り離れたビジネスモデルを考えています。今後はパッケージツアーではなく、コンテンツが残っていくと考えているから

今後の目標は？

旅行プラットフォームはいくつもありますが、すべて大都市用。地域情報が埋もれています。現在の秋田版プラットフォーム「Concierge, Akita」はまだ、やりたいことのわずか2000分の1ですが、今後は地域情報をしっかりと伝えられるものを作っていきたいです。また、全国各地版のポータルサイトの構築も視野に入れています。実際に東北のベンチャー企業が5社以上集まり、東北各県の連携が進んでいます。「観光で世界の多様性を未来に残す」という企業理念に向かって着実に歩みを進めていきたいです。



ウェブプラットフォーム「Concierge, Akita」